

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ千波支援教室		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	v	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる環境づくりを心がけ、利用者が主体的に活動できる支援を行っています。	利用者一人ひとりの特性や興味関心に合わせて活動を工夫し、無理なく参加できるよう配慮している。また、職員間で日々の様子を共有し、安心して過ごせる環境づくりに努めています。	職員研修や情報共有をさらに充実させ、支援の質の向上と利用者一人ひとりに応じたより良い支援の向上に努めていきたいと思っています。
2	保護者との信頼関係を大切に、相談しやすい環境づくりに努めています。	送迎時や指導記録を通して日々の様子を共有し、保護者様の声を支援に反映できるよう心がけています。	保護者様との情報共有の機会をさらに充実させ、利用者の成長や課題について共通理解を深めながら、より良い支援に繋がっていきます。
3	職員間で情報共有を行いながら統一した支援を実施しています。	日々の記録やミーティングを通して利用者の状況を共有し、共通の理解のもとで支援を行っていくよう心がけています。	定期的なミーティングや記録の共有を通して情報共有を充実させ、職員間で支援の方向性を確認しながら、より統一した支援の提供に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や、きょうだいへの支援について、今後充実させていくことが課題である。	交流の機会は設けているが、参加率が少ないことが課題の要因と考えられる。	参加しやすい日時の設定や、保護者へ積極的に案内を行うなどの工夫が必要である。
2	利用者の興味や発達段階に応じた活動内容をさらに工夫し、より充実した支援が提供できるよう改善していく	利用者の特性や興味をさらに把握し、活動に反映できる仕組みを強化することで、より充実した支援につなげられる。	活動内容を柔軟に調整し、成長や達成感を感じられる支援をさらに充実させる。
3	利用者が安心して過ごせるよう、室内環境や活動スペースの整備を継続的に見直していく必要がある。	利用者の特性や活動内容に応じた環境改善の機会が十分に確保できないことが考えられる。	定期的な環境点検や職員間の情報共有を行い、利用者が安全で安心して過ごせる室内環境や活動スペースの整備に努めていきます。